

ブラジルにおける海外投融資の展開 ～民間セクターの活力を社会課題の解決に繋げる～

2025年12月3日

国際協力機構民間連携事業部 海外投融資第二課

壽楽 正浩

A solid green horizontal bar at the bottom of the slide.

1. イントロダクション

～海外投融資が持つ途上国開発での役割～

海外投融資とは

- ファイナンスを通じて民間企業による途上国の社会課題の解決を後押し
- JICAは日本最大規模の途上国向け「インパクト投資」集団

Our Impact 2023年度実績

3: Good Health and Well-Being 
年間患者数 **871,130人/年**
LEAP 1がリーチした患者数は431万人

5: Gender Equality 
金融にアクセスした女性事業主数 **10,300件**

7: Affordable and Clean Energy 
最大出力 **1,090 MW**
LEAP 1の再エネ設備容量は1,500 MW
年間送電端電力量 **3,720 GWh /年**

8: Decent Work and Economic Growth 
中小零細企業向け貸付件数 **46,500件**
雇用創出数 **32,180人**
LEAP 1の雇用創出数は33,000人
年間技能実習生送り出し人数 **2,890人/年**

9: Industry, Innovation and Infrastructure 
工業団地の合計開発面積 **550 ha**

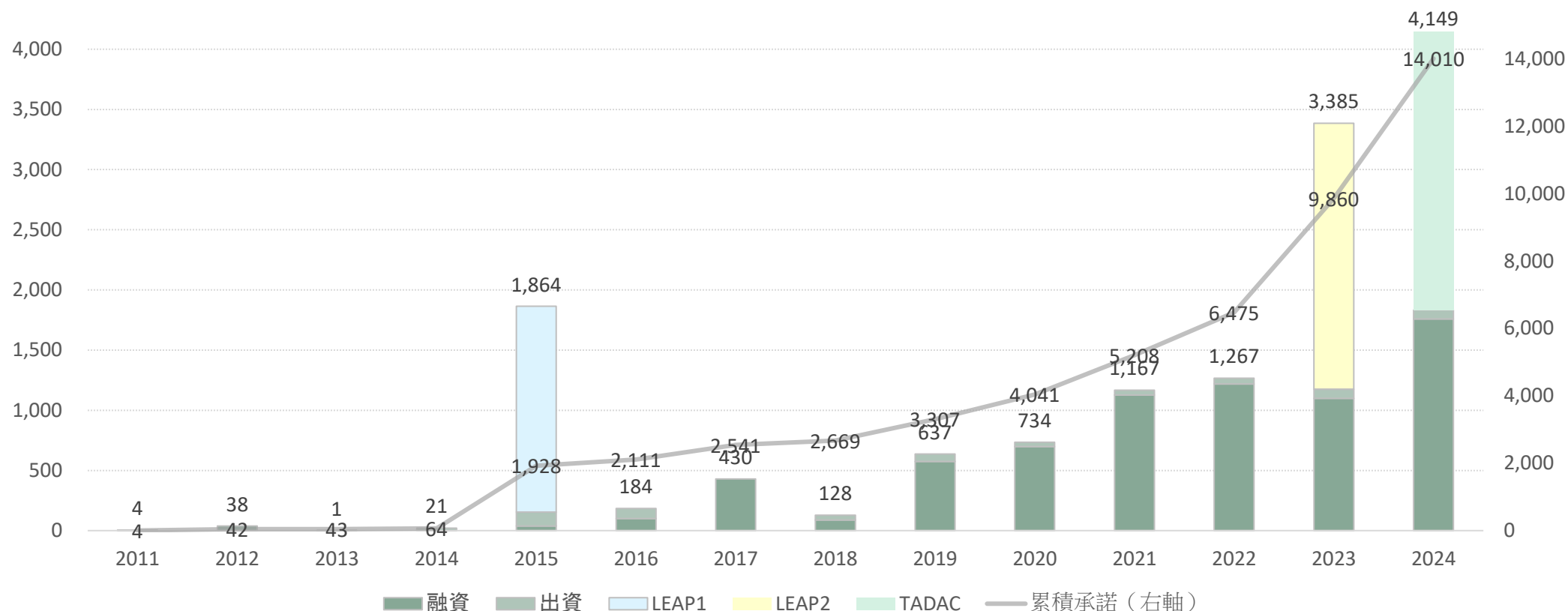
12: Responsible Consumption and Production 
農作物生産量 **783,110トン/年**

13: Climate Action 
再エネ・省エネ事業者貸付件数 **280社**
LEAP 1のGHG削減量は300万トン

※インパクト指数は投資先の実績報告ベースかつ、集計可能なもの
※LEAP 1 (ADBとの協調信託基金) は全て累計実績

海外投融資の成長

- 累計承諾額は1.4兆円、年間承諾額は1,500億円程度まで拡大



2. 何故ブラジルなのか

～ブラジルの民間セクターが持つポテンシャル～

ブラジルが有するポテンシャル

- 中南米最大の経済大国（GDP世界9位、農業大国）
- グローバルサウスのリーダー（G20、BRICS）
- 環境・気候変動分野での重要性（アマゾン）
- 日本との歴史的な結びつき（日系人社会）



ブラジルが直面する課題

- 依然として残る格差
- 広大な国土をカバーするインフラ需要
- 財政制約・マクロ経済



JICAの協力方向性

- 持続可能な社会の推進

- ー 環境・気候変動対策の強化（農業、再・省エネ、森林保全）

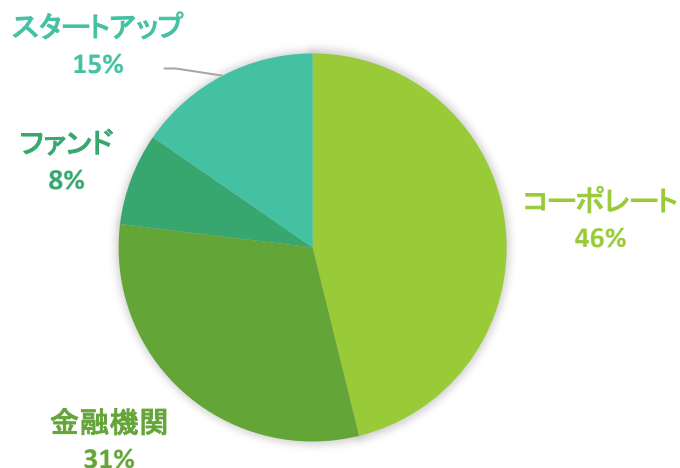
- 格差是正

- ー 経済開発の推進（水環境、スタートアップ）
- ー 社会包摂の向上（保健・衛生、ジェンダー）

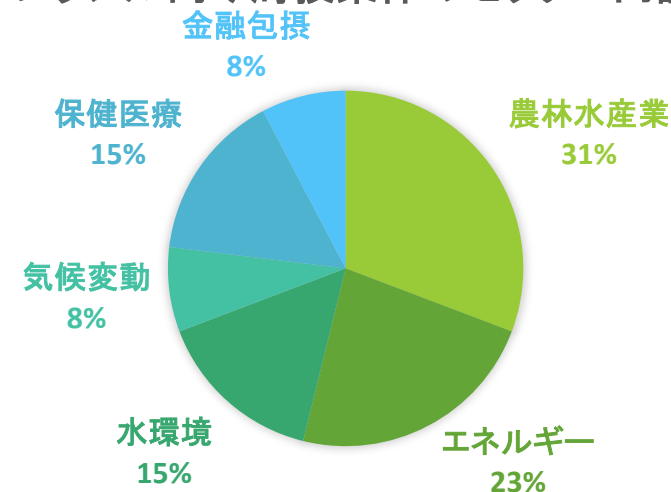
民間セクターにとって重要な環境

- PPPによるインフラ開発実績、それを支える法制度
- 中南米地域をリードするスタートアップ・エコシステム
- 一定程度成熟した金融・銀行セクター

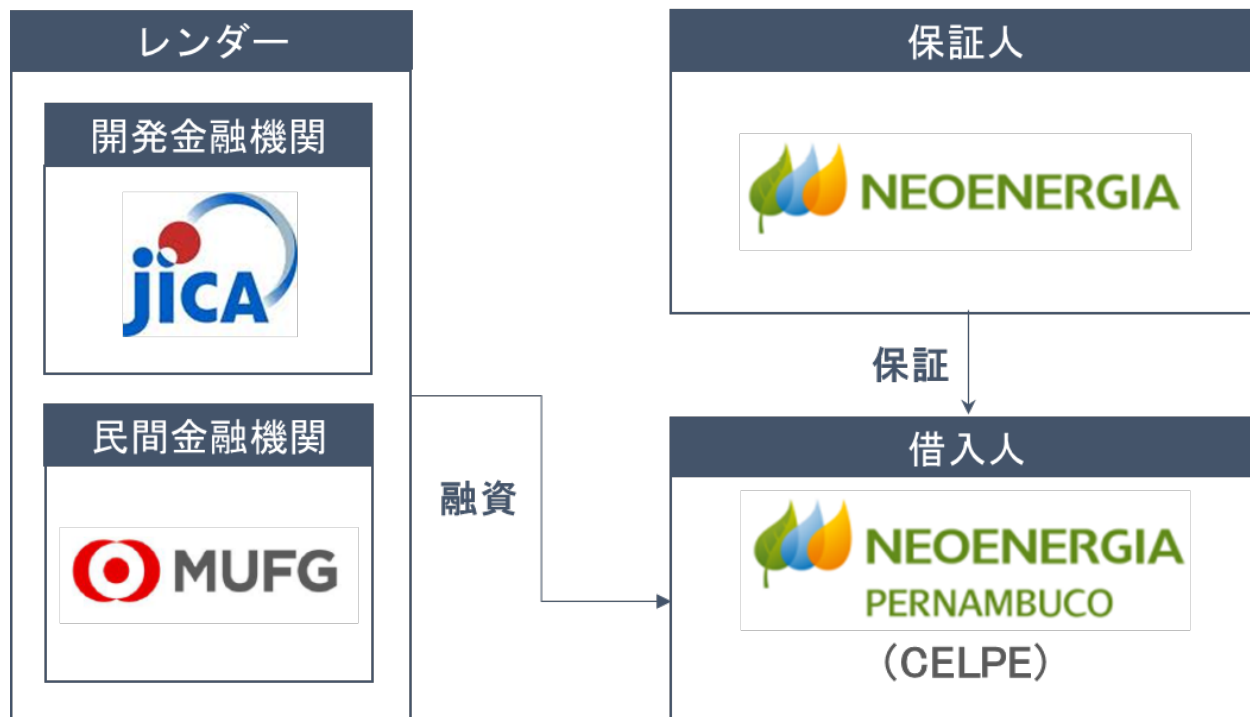
ブラジル向け海投案件の形態内訳



ブラジル向け海投案件のセクター内訳



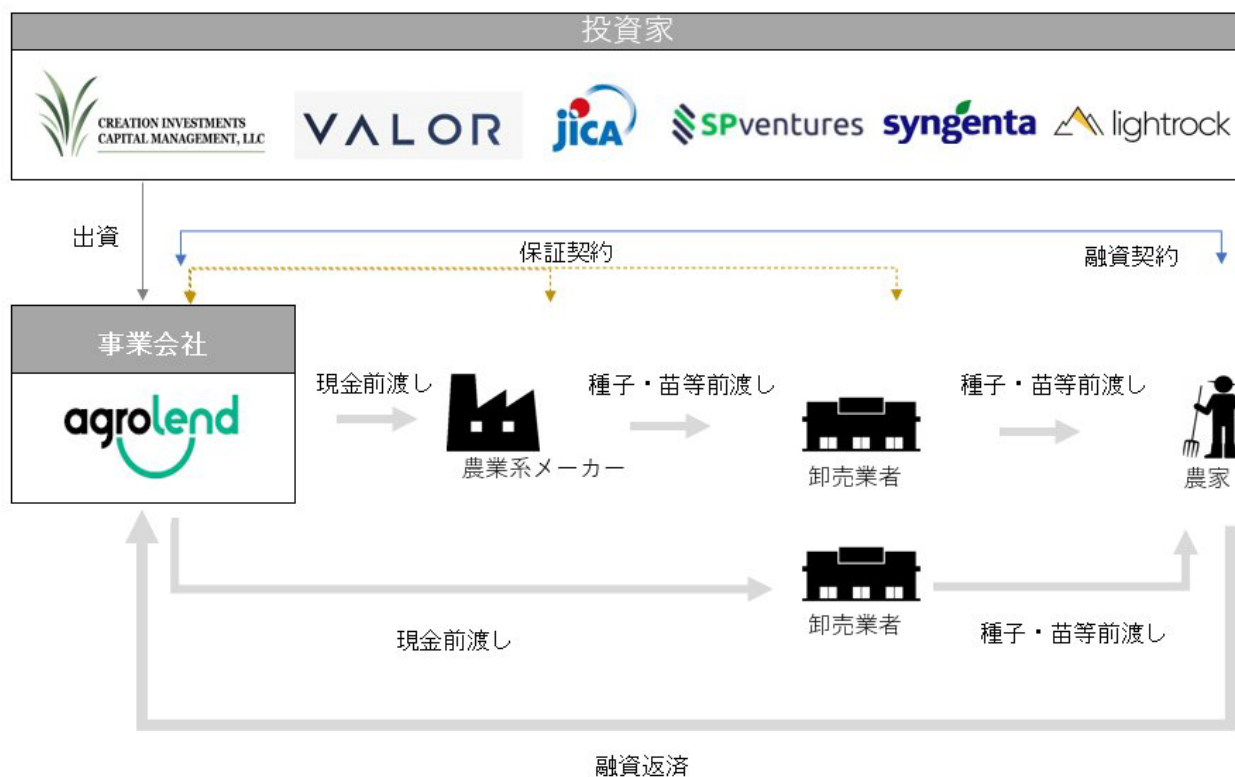
エネルギー × PPP



- ◆ PPPの下でペルナンブコ州で配電事業を行うCompanhia Energetica de Pernambuco(CELPE)への融資。
- ◆ 電力系統整備への長期融資により、電力供給容量の増加・電力ロス抑制による省エネ促進を図るもの。



農業 × スタートアップ



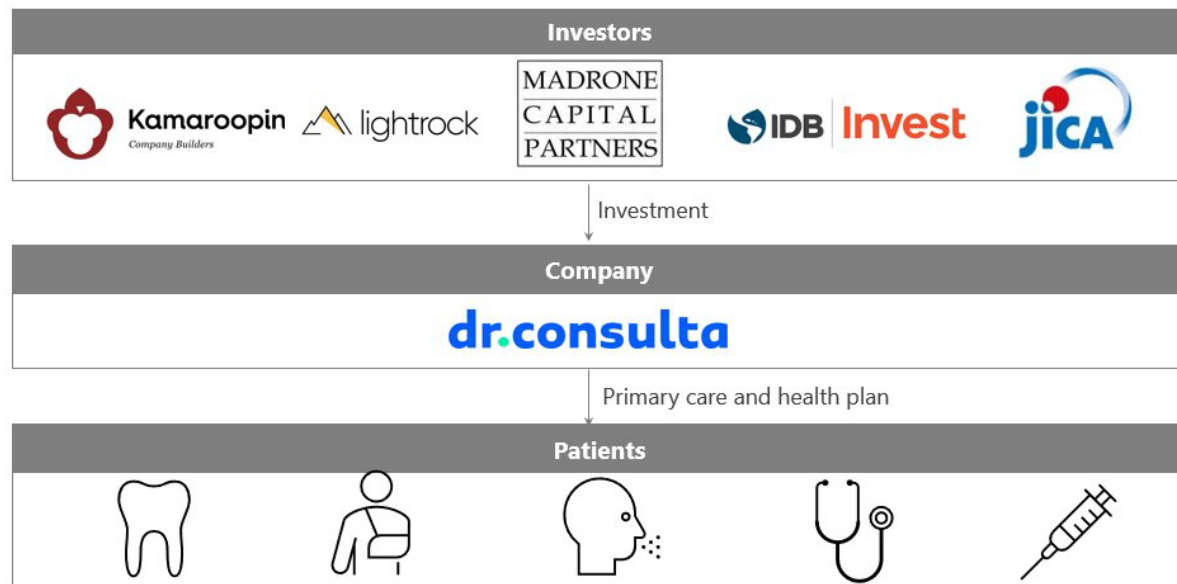
- ◆ ブラジルの中小農家に革新的金融サービスを提供する スタートアップAgrolend社への出資。
- ◆ 同社は融資審査などにデジタル技術を活用して種子、肥料、農薬などの購入資金を約2,700の中小農家に提供。
- ◆ 中小農家向け金融に係る農業系メーカーと卸売業者の経営安定化と効率化を図り、中小農家向け金融アクセス改善および農業サプライチェーンの生産性向上に貢献。

女性・中小企業支援 × 金融機関



- ◆ デジタル技術を活用して、金融サービスを行う大手金融機関BTG Pactualへの融資。
- ◆ 同社への長期融資を行うことにより、北部・北東部州及び女性が経営する中小零細事業者の金融アクセスを改善し、もって持続的な経済成長、地域格差是正および女性の経済的エンパワーメント促進に寄与。

保健医療 × スタートアップ



- ◆ AIを活用した効率的なオペレーションにより、低中所得者向けプライマリケアを提供するDr. Consulta社への出資。
- ◆ 低中所得者向けの医療サービスの拡大を支援することで、医療アクセスの改善を図り、ブラジルの Universal Health Coverage (UHC) の拡大に貢献。



3. 今後の方向性

中南米 **MIDORI** イニシアティブ

Mission for Inclusive Development through Responsible Investment

【背景】

- 中南米は「地球の肺」アマゾン熱帯雨林とともに豊富な再生可能エネルギーのポテンシャルを有する地域であり、地球規模課題である気候変動対策において最も重要な地域。
- ブラジルをはじめ食料輸出大国も多く、日本の戦略的重要パートナーも複数存在。世界の食料安全保障において重要な役割を担うことから、気候変動対策と農業開発（緩和策・適応策を考慮）の両立が重要。

【概要】

中南米・カリブ地域において、JICAの海外投融資を活用し、気候変動・環境関連分野に対する民間投資の促進を図るもの。JICAは出融資にあたり民間金融機関や開発金融機関等のパートナーとの協調出融資を通じた資金の動員を図る。

- 対象国：中南米・カリブ地域のODA対象国
- 想定される事業：再エネ・省エネ、水・海洋資源の持続可能な利用、水・大気・土壌の汚染防止、生物多様性・生態系の回復・保全、サーキュラーエコノミー推進（廃棄物削減・リサイクル推進・資源の効率的利用）気候変動に対する緩和策・適応策を盛り込んだ農業案件等

ご清聴ありがとうございました
